



保護者や地域住民が1年生の配膳をお手伝い 給食配膳ボランティアを開始

宗像市では、給食の準備に慣れていない小学1年生とそれを指導する教員をサポートするため、保護者や地域から募ったボランティアが給食の配膳など、準備の指導を手伝う取り組みを4月から開始しました。

ボランティアのサポートにより見守りが増え、教員の負担軽減が図られているほか、児童の食事時間の確保にもつながっています。また、ボランティアの機会に給食を食べてもらうことで、その美味しさと、「食のまち宗像」が推進する地産地消や食育の取り組みを感じてもらい、学校への理解が深まることも期待しています。

学校からは、「以前より子どもたちが落ち着いて給食の準備ができているようだ」「安心が増して助かっている」といった声や、参加したボランティアからは「給食を美味しそうに食べる1年生の姿がうれしかった」といった反応も聞かれました。

今後も「おなかた育ちウィーク」や地産地消を始めとする様々な取り組みを進め、美味しい給食、楽しい給食をとおして子どもたちに宗像の魅力を伝えていきます。

<給食配膳ボランティアの概要>

- ・活動内容 小学1年生の給食の準備等を指導する教員の補助(1学期のみ)
- ・報酬 なし。ただし、当日の給食を提供(費用は市が負担)
- ・実施校 市内15校のうち6校
- ・主な登録者 保護者や地域活動に携わる方、各校1~12名。計42名が登録。

<取材について>

- ・取材対応校 宗像市立日の里東小学校
(宗像市日の里4-21)
- ・給食時間 12:15~12:55

※ご取材いただける場合は、取材希望日の2日前までに下記へご連絡ください。

【問い合わせ先】

宗像市教育政策課 担当:小森 電話:0940-36-5099